

部位別	どんな検査	検査の種類	検査への適応とその他	性別	年齢
胃カメラ (15,000円)	胃、十二指腸、食道に関する病気のための検査です。 胃カメラで胃を直接観察することができるため、上記部位には最も適した検査です。 また何か病変が見つかった場合には直接、組織を採取することも可能です。	内視鏡検査	<ul style="list-style-type: none"> 胃がん・食道がんや胃に関する症状がある方 過去に胃がんの既往がある方 胃ポリープ、胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍が気になる方 	男女	全年齢
バリウム検査から胃部内視鏡への変更 (5,000円) (協会けんぽ: 8,000円)	健診や人間ドックのコースの中で、胃部レントゲン検査から胃(部内視鏡)カメラへ変更の場合	画像診断機器	<ul style="list-style-type: none"> バリウム検査が苦手な方 被ばくが気になる方 	男女	全年齢
ヘリコバクターピロリ菌抗体 (3,000円)	血液からヘリコバクター・ピロリ菌に対する抗体の有無を調べ、ピロリ菌に感染しているかどうかを調べる検査です。 ※ピロリ菌そのものを見つけた検査ではありません。	血液検査	<ul style="list-style-type: none"> 胃潰瘍や胃炎を繰り返してピロリ菌未除菌の方 幼少期から井戸水を飲んでいて、親から食べ物の口移で食べた経験のある方 ピロリ菌感染による、胃がんのリスクが気になる方 	男女	全年齢
ペプシノーゲン検査 (7,000円)	採血による検査です。 血液中のペプシノーゲンの産出量を測定することによって萎縮性胃炎、胃がんの早期発見に有効な検査です。	血液検査	<ul style="list-style-type: none"> 胃がんが気になる方 妊娠中で胃がんが気になる方 	男女	全年齢